熊谷市 複合子育て・保健施設「くまキッズ」視察報告概要　資料０４-1

【視察日時】 令和８年８月 19 日（水）　【視察先】 埼玉県熊谷市「くまキッズ」

1. 施設概要および基本構造

・構成（4町5施設）: こども館、石原児童クラブ、中央保育所、保健センター、休日夜間診療所
・位　置　付　け: 施設全体は児童福祉法上の「児童館」として指定。市街化区域。
・敷 地 ・ 環 境: 旧県施設跡地（約 27,000 ㎡）を活用。散策路、芝生広場、農園等を整備。
・整 備 運 営 方 式: PFI・DBO 方式を採用（指定管理者による運営、設置期間 14 年）。
・用 途 と 面 積 : 子ども・子育て世代の支援や地域保健を包括的に行う複合施設
敷地面積約 27,000 ㎡、全体延床面積：7,640.85 ㎡（うちこども館・石原児童クラブ棟：約 3,034.45 ㎡、）

2. 各主要機能の主な特徴と運用の工夫

◎こども館（児童館機能・子育て支援）
市内外問わず基本無料（一部特殊室は有料貸出）。
自由来館制。混雑（80 人超）時は安全確保のため入場制限・整理券運用を実施。
2 階に中高生専用エリア（自習・音楽スタジオ等）を設置し、夜間利用や学習ニーズに対応。
◎中央保育所（保育）
公立 4 園を統合（定員 150 人）。一時預かり、病後児保育、公立初の医療的ケア児を受け入れ。
ICT（コドモン）や「おむつサブスク（月額 2,500 円）」を導入し保護者負担を軽減。
◎児童クラブ（学童）
定員 120 人。可動壁で 3 室に分割運用し、屋外遊び等は一般利用と動線を分離。
◎保健センター（保健）
母子保健と児童福祉を一体化し、妊娠期から青少年期まで連続的な支援体制を確立。
◎休日夜間診療所（医療）
ドライブスルー型診療動線（感染症対策）を整備。

3. 事業手法・財務および複合化の成果

・財 源 ・ 補 助 金: 都市構造再編集中支援事業、子ども・子育て支援交付金、森林環境譲与税（内装木質化）等を多角的に活用。
・事業費と物価高騰対応: PFI 契約において物価スライド条項を適用。資材・人件費高騰や地下埋設物撤去等により、契約額は約 40 億円から約 52 億円（+22%）に変更・増額調整。
・光熱水費・維持管理: PFI の枠組みにより、施設全体の維持管理費を一括管理。

4. 守谷市における計画への示唆・課題点

・複合化・ゾーニング: 動線分離（一般・保育・診療等）と安全管理の徹底。過剰におしゃれなデザインより実用性（収納スペース確保や安全カバー等）を重視すべきとの意見あり。
・周辺環境・住民配慮: 渋滞対策（駐車場・ロータリー整備）、防音・目隠し配慮、オープン後の夜間開放に伴う騒音・防犯管理のルール明確化。
・設備・インフラ管理: 自転車利用者の想定以上の集中による駐輪場不足への初期対応、ビオトープ等の生態・衛生管理保守の外部委託検討が必要。
・事 業 計 画 推 進: 意見聴取や準備期間を十分に確保したスケジュール管理の重要性。